## 第80回抗がん剤研修会(集中講義)参加者アンケート集計結果

開催日時: 2016年10月2日(日) 9:30~17:00

開催場所: 日本薬科大学 講義棟3 723講義室

演題1 「抗がん剤治療における支持療法(発熱性好中球減少症)」

上尾中央総合病院 薬剤部 国吉 央城 先生

演題2 「抗がん剤治療における支持療法(皮疹・手足症候群)」

戸田中央総合病院 薬剤部 畠山 朋樹 先生

演題3 「抗がん剤治療における支持療法(悪心・嘔吐対策)」

東京女子医科大学病院 薬剤部 石丸 睦美 先生

演題4 「抗がん剤治療における支持療法(末梢神経障害)」

越谷市立病院 薬剤部 中田 和宏 先生

特別講演 「経口抗がん薬治療を支える薬剤師の役割」

~院外薬局との連携における病院側としての展望と課題~

国立がん研究センター東病院 薬剤部 川澄 賢司 先生

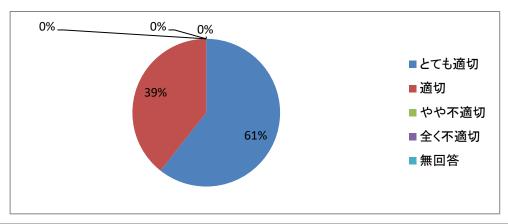
総合評点 3.5 (4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケー ト意見あ り(枚)
98	94	96%	23

評価記入---4.とても適切 3.適切 2.やや不適切 1.全く不適切

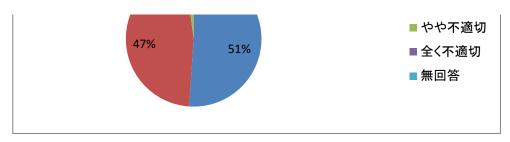
### 1. 講演テーマについて

- HI11/2/	, ,					
1-1	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切		平均
	57	37	0	0	0	3. 6

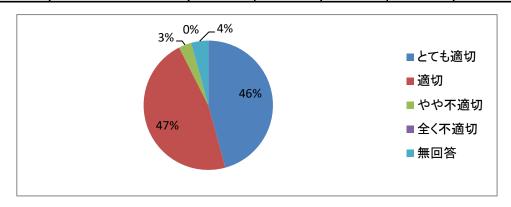


1-2	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無同窓	平均
	48	44	2	0	0	3. 5

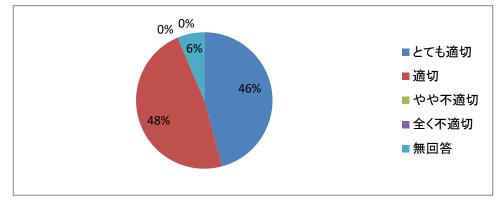




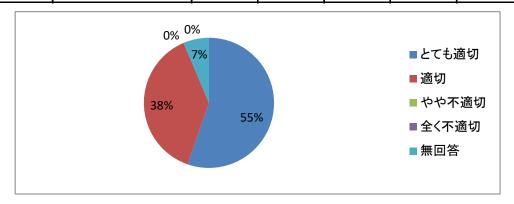
1-3	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	43	44	3	0	4	3. 4



1-4	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	43	45	0	0	6	3. 5



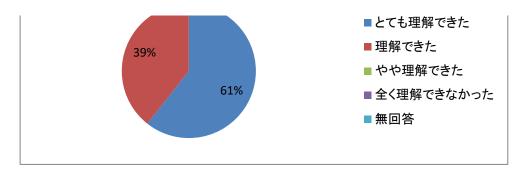
特別講演	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	52	36	0	0	6	3.6



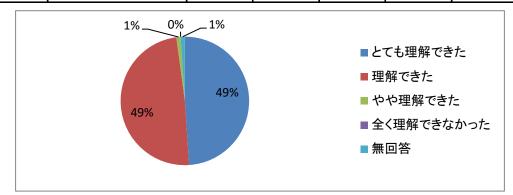
### 2. 講演内容について

	2-①	とても理解できた	理解できた	やや理解で きた	全く理解で きなかった	無回答	平均
Γ		57	37	0	0	0	3.6

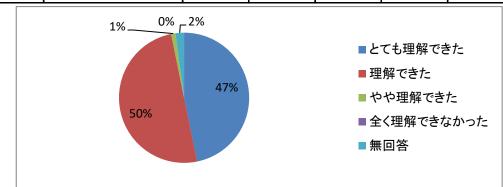




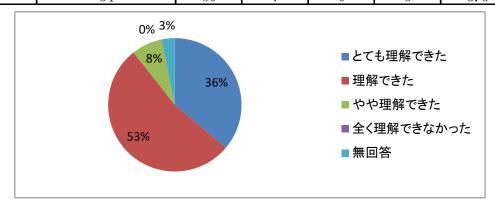
2-(2)	とても理解できた	理解できた	やや理解で きた	全く理解で きなかった	無回答	平均
	46	46	1	0	1	3. 5



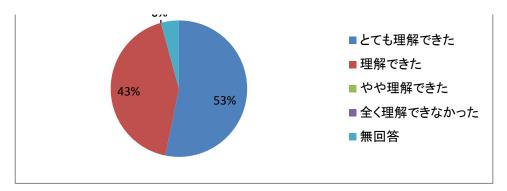
2-3	とても理解できた	理解できた	やや理解で きた	全く理解で きなかった	無回答	平均
	44	47	1	0	2	3. 5



2-4	とても理解できた	理解できた	やや理解で きた	全く理解で きなかった	無回答	平均
	34	50	7	0	3	3, 3

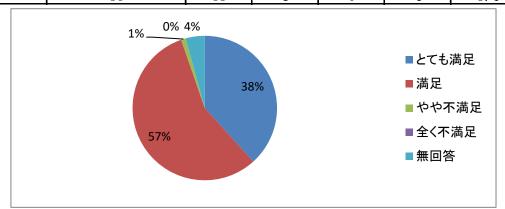


L	特別講演	とても理解できた	理解できた	やや理解で きた	全く理解で きなかった	無回答	平均
		50	40	0	0	4	3.6



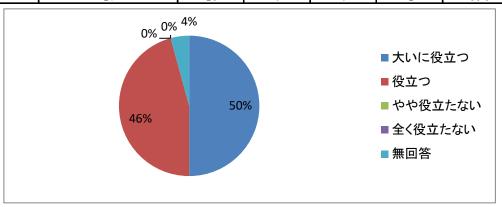
#### 3. 本研修会の印象について

È	9. 7.6/19/A	, ,					
L	3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
Г		36	53	1	0	4	3. 4



## 4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立た ない	全く役立たない	無回答	平均
	47	43	0	0	4	3. 5



# アンケート意見(23枚)

1. 講演テーマについて	
1-3 演者の考察がなく、ガイドライン通りだった	1
5. 今後取り上げてほしいテーマについて	
感染症	1
血液関連がん	1
造血器腫瘍について	1
メラノーマ肉腫などのまれな癌について	1
骨がん	1
肺がん関連	1
緩和ケア	2
	1
褥瘡対策	1
――――――――――――――――――――――――――――――――――――	1
血液がんの新規薬剤について	1
新規抗体製剤について	1

抗がん剤の服薬指導内容について	1
<u></u> 抗がん剤調製の取り扱い	1
抗生剤の使い方	1
	1
在宅での患者、家族の対応など	1
初回指導時と複数回施行後の指導時の注意点、取り組み内容	1
「当院での取り組み」のような、業務内容や仕事の仕方等	1
健康食品やサプリメントが化学療法中の患者に与える影響について	1
脱毛の際の低刺激シャンプーの種類	1
論文の読み方、考え方	1
経済問題について	1
6. 本研修会で気づいたこと・質問・希望 切かん剤の副作用対束は進んでさくはいるか、また有効な宿療法か見つ	
かっていないものがあることがよく分かった。今後も新しい機序の抗が	1
ん剤が開発される中で、薬剤師として副作用の程度や時期をもっと勉強	1
<u>したけれげと咸じた</u> 各講義において基本的な内容から実臨床で活用できる内容まで分かりや	
各講義において基本的な内容から実臨床で活用できる内容まで分かりや	1
すく説明していただき大変勉強になった	1
症例を提示してくれたことで、臨床に当てはめて学ぶことができた	1
講演2のHFSの対策の中でマニキュアなどは診察の際には除去という話	
だったが、ジェルネイルは通常のマニキュアより持ちがいい反面、除去	
に手間がかかり爪に負担がかかることが予想される。また爪とジェルネ	1
イルの間に隙間ができることでそこに水分がたまり、菌が繁殖すること	
も言われているので、推奨するには検討が必要ではないかと思った。	
注射の投与は内服よりも用量が多くなる事だが、なぜお薬手帳への記載	
がないのだろうと思う	1
	-
薬剤師の先生だからこその講義内容だった	1
配布資料のスライドがもっと大きいと見やすくてよいと思う	2
スライドが見にくかった	2
冷房が効きすぎていて寒かった	1
演者が使っていたマイクは、下の黒い部分がセンサーになっているタイ	
	4
プだと思うので、マイクの黒い部分や一番下の部分を手でふさぐと雑音	1